

# 研 究 紀 要

## 第 58 卷

---

### 学校研究 1 対話的な授業づくりによる深い学びを目指した実践研究 －遠隔合同授業をツールとして－

- ・ 課題に対する予想や考察場面における話し合いの活性化を通して、  
子供が科学的に探究する力を育む教育実践研究  
－「他者との学び合い」を創る遠隔合同授業を通して－…………… 2
- ・ 『「他者との学び合い」を創るオンライン授業（遠隔合同授業）」  
－ 中学部 2 年生社会科地理的分野の事例－…………… 8
- ・ 外国語（英語）科における遠隔合同授業の実践  
－ 聞き手を意識した発表活動を通じ、話題の展開方法の工夫を主体的に考え、  
取り組む事例－…………… 15
- ・ 保健体育科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた  
遠隔合同授業の実践Ⅱ  
－ 高等部陸上競技「リレー」の実践事例－…………… 21

### 学校研究 2 障害の重い子供の教科指導の在り方に関する実践研究

- ・ 知的障害を併せ有する肢体不自由児に対する教科指導の在り方に関する実践研究  
－ 国語科の資質・能力を育む単元づくり－…………… 30
- ・ 知的障害を併せ有する肢体不自由児に対する図画工作科・美術科の指導の在り方  
に関する実践研究  
－ 小学部 1 段階の単元づくりに着目して－…………… 39

---

### 個人・グループ研究, その他

- ・ 知的理科中学部 1 段階生命「葉を探して比べよう」の計画と実践  
－ 「主体的に学習に取り組む態度」を育てる指導と評価－…………… 64

2023年 3 月

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

研究紀要第58巻 執筆要項

I. 原稿の仕様(学校研究, 個人・グループ研究, その他共通)

1. Wordを使用し, A4判に横書き, 2段に段組み, 2,500字(25字×50行×2段)で印字された原稿で, 本文中に図表を入れて完成したものを提出する。 ※「原稿(基本様式)」あり
2. 図表(写真も含む)は上記1.とは別に図表のみのファイルを作成し, 加工, 修正が可能な状態で提出する。
3. 表題は, 1ページ目の先頭に2段組みせずに記載(MSPゴシック(太字)18pt)し, 副題を付ける場合は表題の下に記入(MSPゴシック(太字)16pt)する。さらに, 執筆者名はその下に記入(MSPゴシック(細字)12pt)する。
4. 要旨(アブストラクト)は, 表題(および副題)の下に, 2段組にせず400字以内で記載(MS明朝体(細字)9pt)する。
5. 1名による執筆の表題, 執筆者名, 本文, 図表, 文献を全て含めた原稿の刷り上がり頁数は7ページを上限とする。ただし, 2名による共同研究の執筆の場合は13ページを上限とし, 3名以上による共同研究の執筆の場合は21ページを上限とする。
6. フォルダ内の元ファイルを使用して作成し, 上書き保存はしないようにする。

II. 文献

1. 本文において引用されたすべての文献(引用文献)は, 論文の最後に著者名をアルファベット順(アイウエオ順ではない)に一括して記載する。記載の様式は以下のとおりとする。  
雑誌: 著者名(西暦年) 題目. 雑誌名, 巻数(必要な場合は号数), 開始頁-終了頁.  
著書: 著者名(西暦年) 書名. 出版社, 出版地(国内は省略), 開始頁-終了頁. (頁は省略可)  
(例) 1) 宇野彰(2007) ことばとこころの発達と障害. 永井書店  
※文献記載の書式の詳細については「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引きを参照
2. 引用文献, 参考文献の番号のふり方は**1) 2) 3)**…のように**全角数字と片カッコ**とする。

III. 研究倫理の遵守

執筆者は論文の内容について十分に人権および研究倫理上の配慮をしなければならない(個人情報に関する配慮や写真掲載の許諾など。)また, 研究実施の際に配慮した研究倫理に係る事項があれば, 論文中に記載すること。

# 謝 辞

本研究紀要の作成に当たり，以下の先生から貴重な御示唆を頂戴いたしました。ここに記して，謝辞の意を表します。

筑波大学人間系教授                      竹田 一則      先生

筑波大学 研究紀要 第58巻  
附属桐が丘特別支援学校

---

2023年3月20日 印刷

2023年3月25日 発行

発行者 東京都板橋区小茂根2丁目1番12号 電話(03)3958-0181(代)  
(〒173-0037) FAX(03)3958-2090

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

印刷所 株式会社 三協社 電話(03)3383-7281

---

Bulletin  
of  
Kirigaoka School for the Physically Challenged,  
University of Tsukuba

Vol. 58

---

**School Research 1: Practical Studies aiming to Learn Deeply by Making Interactive Lessons: through Remote Joint Lessons**

- Practical Study to Foster Children’s Ability to Search Scientifically Through Expectations for Problems and Activation of Talking during Study Scenes: Searching Scientifically through Joint Remote Lessons to Create “Learning with Others” ..... 2
- Remote Joint Lessons to Create “Learning with Others”: Case of Junior High School 2nd Year Social Studies Geography ..... 8
- Example of Learning Independently Based on Self Problem Setting by Making Presentation of their Town: Practice of Remote Joint Lessons in English ..... 15
- Practicing Remote Joint Lessons of Health and Physical Education to Achieve Proactive, Interactive, and Deep Learning 2: Practical Example of High School Track and Field “Relay” ..... 21

**School Research 2: Practical Studies on How Teaching Subjects to Children with Severe Disabilities Should Be**

- Practical Study on How It Should Be to Teach Subjects to Children with Intellectual and Physical Disabilities: Designing Lesson Plans to Foster Qualities and Abilities of Japanese ..... 30
- Practical Study on How It Should Be to Teach Art to Children with Intellectual and Physical Disabilities: Paying Attention to Designing Lesson Plans for Elementary School 1st Stage ..... 39

---

**Individual / Group Research and Other**

- Designing and Practicing “Let’s Compare Leaves” for Junior High School Science for Students with Intellectual Disabilities 1st Stage Life: Guidance and Evaluation to Foster Attitude to Study Independently ..... 64

Published by  
Kirigaoka School for the Physically Challenged,  
University of Tsukuba

Mar. 2023